

世界遺産とともに歩むまちづくりー三角西港の場合ー
今年度の実施体制ならびに行事予定のご報告

1. 世界遺産とともに歩むまちづくりー三角西港の場合ー

「まちづくりとは、終わることのない地域環境改善活動である」私が尊敬する、ある先生のお言葉である。三角西港を構成資産として含む『明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業』が、ユネスコの世界文化遺産に登録された。三角西港の地域住民、NPO、宇城市役所、熊本県をはじめ関係者の皆様に、心からおめでとうを言いたい。しかし個人的には、これまでの準備、これから起こるであろう様々な事柄への対応、地域住民の方々が安心・安全な暮らしを存続させることができるのか、が気になっている。私は、世界遺産の構成資産としての三角西港（国指定重要文化財、写真-1）の後背地が、国内法によって西港と一体的に守られるよう、国の重要文化的景観に選定されるための価値付け及び保存計画の策定を手伝ってきた。同地区が含まれる「三角の瀬戸」を重要文化的景観にするべく、まずは「三角浦」に限定して、価値の再発見（共有）を目指した。平成25年度には、宇城市役所内の庁内調整ワークショップ（以下、WSと略）と三角西港地区における地域住民WSをそれぞれ2回ずつ計4回行った。写真-1は、2014年2月9日に地域住民、宇城市役所有志の皆さん、熊本大学の学生たちと行った第2回市民WSにて参加者の皆さんと確認した「三角西港の○と×」である。世界遺産になるのはうれしいけれど、少子高齢化、空き家が増えた、交通が不便、観光客や釣り人のマナーが不安など、地域にはまだまだ課題が山積だった。「地域の×を○に、○を◎に」していくことを議論し、「(誰かと) いっしょに/自分たちのことから/場をひろげ/三角西港らしくやる」という活動指針を何とか導くことができた。世界遺産になっても、地域の価値は変わらない。むしろ、その価値が国内外に知らしめられ、これを保全していくことに地域住民をはじめ、多くの方々が関わっていくことが求められる。地域の価値を磨いていくことを、苦勞とするか、楽しみとするか、いま一人一人の心がけが問われている。(文責: 田中 尚人(熊本大学))



写真-1 土木遺産「三角西港」



写真-2 WSの成果物

2. 今年度の九州支部運営体制ならびに行事予定

平成27年度第2回日本都市計画学会九州支部幹事会を5/29(金)に福岡市内にて開催し、今年度の役割分担ならびに行事予定を表-1のように決定いたしました。引き続き、幹事会をあげて、活発な学会活動と情報発信に努めたいと存じます。また、表-1 下段に示す各会の幹事会の終了後には、九州各地の最新の取組みについて、関係者の方々をお招きして聴講する「都市計画サロン」も開催しています。これは幹事会以外の学会員も聴講でき、事業者や大学関係者の方々など幅広く参加を頂いています。それらの情報も、この「支部だより」において、全国の皆様へご紹介する予定です。

表-1 平成27年度九州支部の運営体制

項目	担当	内容
支部主催シンポジウム	外井, 吉武, 柴田, 箕浦	・ 時宜を得たテーマを選定 ・ 他支部との連携活動
都市計画サロン	外井, 永村, 内田(智), 加知	・ 都市計画サロンの企画、運営
新規研究分科会	堤, 有馬	・ 募集ならびに決定の補助
支部ニュース	趙, 寺町, 箕浦, 吉城	・ 年4回九州支部会員向けに発行する
支部だより	姫野, 嶋本	・ 九州支部活動及び九州の地域情報の本誌へ発信
ホームページ	外井, 加知	・ ホームページの維持、更新 ・ 会員への情報提供サービスの強化
CPD	内田(智)	・ CPDに関する情報の一元化及び認定申請への対応
支部長賞	加知, 永村	・ 支部長賞の募集ならびに決定・授与の補助
支部報告会 (ポスターセッション・研究発表会)	吉城, 大枝, 小林	・ 支部報告会の実施と改善
支部活動の検討	吉武, 外井, 日高, 内田(智)	・ 都市計画分野の新人研修 ・ その他
中四国支部連携	外井, 坂井, 橋本	・ 中四国支部との連携事業の検討
支部情報担当	辰巳	・ web会議にて、支部の意見や支部HPとのリンクのあり方を報告
事務局運営	外井, 吉武, 永村, 内田(智)	・ 支部幹事会等の運営 ・ 会計
Who's who	辰巳	・ 学会会員の業績リストデータベースの維持
まちづくり賞	趙, 橋本	・ 募集ならびに決定の補助

- ・ 第3回幹事会 + 都市計画サロン : 7/17 (金)
- ・ 第4回幹事会 + (宮崎大会) : 11/8 (日)
- ・ 第5回幹事会 + 都市計画サロン : 12/18 (金)
- ・ 第6回幹事会 + 都市計画サロン : 2/5 (金)

(文責: 幹事 姫野 由香(大分大学))